

第7号 たれゆえそ

高齢者虐待について

新型コロナウイルス感染拡大による外出機会の減少、介護サービスの利用自粛、経済的問題、家庭内での精神的ストレスの蓄積、介護負担の増大から、高齢者虐待につながるケースが増えています。一生懸命介護しているうちに自分でも気づかないまま不適切な対応になっていませんか？

早期に気づき、第三者が介入することで、虐待の深刻化を未然に防ぐことが可能です。

右隣にあるのは、チェックリストです。やってみて気づくこと、気になること等あれば、地域包括支援センターへご相談下さい。

チェックリスト

- 言うことを聞かないので、無視したり、逆にののしったりしてしまう。
- 良いことと悪いことをわかってもらうために、たたくなどしてしつけをしている。
- 認知症により徘徊するので、部屋に閉じ込めている。
- 認知症や寝たきりで外間が悪いので、外出させなかったり、訪ねてくる人がいても合わせなかったりしている。
- 年金手帳、預金通帳などを管理し、本人に無断で使っている。
- 人前でおむつを替えたり、しばらく裸のままにしておいたりすることがある。



新型コロナウイルスを口実にした消費者トラブルが発生しています！！

「〇〇製薬会社の安芸田と申します。コロナウイルスの治療薬が開発でき、貴方にはその治療を受ける権利があります。1つの保険として、その権利を買いませんか？」



「△△銀行です。コロナウイルスの助成金申請は済みましたか？まだなら代行申請するので、暗証番号を確認させて下さい。」

対応方法

とにかく個人情報 は教えない

普段から **家族** とコミュニケーションをとる

いったん電話を **切る**

ひとりで悩まず

消費者ホットライン188

(局番なしの下3桁) に相談する



《脳トレ答え》

- ①吉永さゆり、渡哲也
- ②美空ひばり、坂本九
- ③一陽来復
- ④医食同源

お問い合わせ先
 広島市瀬野川・船越地域包括支援センター
 住所：広島市安芸区中野三丁目9-5
 電話番号：082-893-1839
 FAX：082-893-1866
 E-mail：se.fu.chiiki3@jiraku.or.jp

コロナ禍で注目！

オンライン・Web (ウェブ) 面会 (面接) ってなんだろう？



最近よく耳にするようになったオンライン・Web (ウェブ) 面会 (面接)。皆さんも1度は耳にしたことがありますか？

オンラインとは、「インターネットに繋がった状態」のことです。インターネットに繋がった機器を使って、離れた場所にいる人と顔を見て話ができる、これをオンライン・Web面会 (面接) といいます。最近よく使われている面会方法はこちらです。

LINE (ライン)

スマートフォンやパソコンで使用するアプリの一つ。ビデオ通話の利用ができる。



ZOOM (ズーム)

左に同じくアプリの一つ。複数で画面共有ができる。3人以上は時間制限あり。パソコンでの使用がおすすめ。



オンラインの面会方法は数多く存在しますが、通信料が発生するので、詳しくは契約している電話会社やインターネット回線の会社へお問い合わせ下さい。

新しい生活様式にならい、新しい方法で繋がりを持っていくこともいいですが、これを機に電話をこまめにしたり、写真を入れた手紙をやりとりしたりするのもいいですね。



